

棚底地域の安寧とコロナ禍の早期収束を願って正月の3日、倉岳神社に初詣に行ってきました。肌を刺すような凍てつく寒さにも拘わらず山頂駐車場は大混雑していました。改めて“天空の倉岳”の人気度を実感しました。

ところで、倉岳町といえすぐにWANIMAの出身地ですかと聞かれるほど今や彼らの知名度はメジャー級です。休日ともなると熱狂的なファンが県内外から訪れ、聖地と崇められている浦のパチンコ店跡など、自撮りしている光景を見かけた方も多いかと思います。

他方、昨年ごろから密かに話題となっているのが、倉岳山頂に祀られている祠(倉岳神社)から鳥居越しに見る景色です。幻想的な風景が新聞やテレビで報道され、インスタ映えする写真が“天空の倉岳”としてSNSなどで広がっていったようです。

少子高齢化で人口減少が著しい中、情報発信力の影響の大きさを痛感した正月でした。

天空の倉岳!

正月早々、登山道は車が多く離合の度にひやひやしながら下りてきました。コロナ禍の中、人気の高さを実感しました。



倉岳神社側から見た景色=昨年撮影

棚底地区振興会報 アイラトピカスラ

棚底地区振興会

倉岳町棚底1786-4
棚底地区
コミュニティセンター
Tel.64-3664
fax63-7544

鬼火焼き(おねび)

倉岳山が雪で覆われ北風が冷たく吹きつける1月10日(日)曙地区で鬼火焼き(おねび)が行われた。
おねびは、竹の破裂する音や煙で悪霊を追い払い、残り火で餅を焼いて食べれば一年間健康で過ごせるという昔からの伝統行事である。



残り火を囲んで団らんする住民ら=船舶用ドック

曙では例年、数か所に分かれて「おねび」を実施していたが、今年は、天候不順とコロナ禍のため区長さんが中心となって船舶用ドックで行われた。
午前9時過ぎに木の枝や竹で組んだやぐらに点火、煙がもうもうと立ち上った。やがて火勢が強まり竹の破裂する音がパンパンと鳴りだすと地区の人たちが次々に訪れ、しめ縄や門松などをやぐらに燃やしていった。黒く焼けた松は、家の魔除けになるというところで大事に仕舞われた。
そのあと、残り火で鏡餅を焼いたり、差し入れのスルメやイワシなどをつまみながら神酒やお茶を飲みながら談笑された。
おねびを通して曙地区民の団結と絆の深さを実感できた。



ぼた餅を焼いているNさん

棚底城通信第56号



【整備管理用道路設計が完了しました】

～節分小話～

寒さが厳しい日が続いていますが、いかがお過ごしでしょうか。もうすぐ節分ですが、今年は2月2日ということのでいつもと日付が違います。これは節分が固定日ではなく、「立春の前日」と決まっているからです。国立天文台暦計算室によると、2月3日でなくなるのは昭和54年以来37年ぶりで、2月2日になったのは明治30年以来124年ぶりの出来事です。一昨年は改元、昨年は新型コロナウイルス感染症の発現と時代のうねりを実感するこの頃ですが、初心に帰って足元の歴史に目を向けて見るのも良いのではないのでしょうか。

さて、今月は16日に第10回整備検討委員会を県庁で開催します。昨年末に完了した整備管理用道路設計の報告や樹木管理ガイドラインの審議などを行い、来年度に繋げようと思います。

(天草市文化課 宮崎)

棚底のタテ道

棚底湾になだらかに落ち込む棚底の扇状地の様は素晴らしいものです。この扇状地のほぼ中央部を旭港から棚底川に架かる柴浦橋までの約一・五kmのほぼ一直線のタテ道が走っています。が、天草では他に見られない風景です。

このタテ道はかなり古い時期からの道かと思われず。もちろん今より狭かったでしょうが、江戸期の庄屋始め村三役の屋敷はすべてこの沿線にありましたが、また古い往還道につきものの神仏の祠が残されています。そして終点付近には、十一月号で紹介しました大権寺があります。

棚底城跡専門委員会の鶴嶋委員長(熊本市)からは、上揚(カミアゲ)は他の地区では、神上という意味で、寺社と関係があります。よと、教えられました。そう言えば阿蘇神社に次ぐ肥後二の宮と言われる緑川沿いの甲佐神社の近くには上揚というバス停があります。果たして棚底の場合の上揚の神は？倉岳神社？大権寺？それとも・・・。

玄界灘に通じる福岡県福津の宮地嶽神社の参道は有名ですが、それに匹敵するのがこのタテ道かと勝手に思い巡らしています。このタテ道は大権寺の参道では



大権寺までの一直線のタテ道

ないかというのが第一私案です。第二私案は、棚底城の南西部方面を防御する長大な土塁(防護壁)の跡ではないかということ。医師観音の近くから三十三体の遺骨が発見されたという伝承も棚底城がらみの戦の痕跡ではないでしょうか。通常、集落内の道は家屋や農地を避けてクネクネしていますが、このタテ道には、真直ぐ作るという強い意志が感じられます。

現在では、のどかな農漁村の風情が漂う棚底ですが、かつての門前町、あるいは城下町という視点から眺めて見るのも面白いと思われず。

棚底三区 歳川 喜三生

防犯パトロールを実施しました

昨年の暮れ、12月25日(金)小・中・高校の2学期の終業式に併せて第2回目の防犯パトロールを実施しました。この事業は、まちづくり協議会が音頭をとり、夏・冬休みに入る前日の年2回、学校、防犯協会、各振興会の部会に働きかけ青少年育成事業の一環として実施するものです。棚底では、倉岳小学校を発着に午後5時から約1時間、徒歩グループと青パトに分かれ非行防止や危険個所の点検、確認に気を配りながら巡回しました。これからも防犯パトロールを通じて子供たちが安全・安心に過ごせるまちづくりを目指して取り組んでいきたいと思ひます。



振興会花壇横をパトロール中

振興会当番

地域づくり部会

棚底城跡見回り(当番)
4区の地域づくり部会員

健康福祉部会

石垣散策トイレ(当番)
2月2日(火) 4区、6日(土) 5区
9日(火) 1区、13日(土) 2区
16日(火) 3区、20日(土) 4区
23日(火) 5区、27日(土) 1区
(コロナ禍のため変更になる場合あり)

今月の人口

高齢化率 49.50%

人口動静

	世帯数		人口	
	11月末	12月末	11月末	12月末
浦	279	279(0)	645	642(-3)
棚底	483	481(-2)	1,085	1,082(-3)
宮田	442	443(+1)	956	959(+3)
合計	1,204	1,203(-1)	2,686	2,683(-3)